

がん予防のススメ Vol.39

大腸がんの予防

生活習慣の見直しと検診受診を



徳島大学病院
消化器・移植外科 特任助教
かしはら ひでや
柏原 秀也 氏

大腸がんは近年増加している

がんの一つで罹患数1位(男性2位、女性2位)、死亡数2位(男性3位、女性1位)のがんです。発症要因として過度な飲酒(適切な飲酒量は一日に日本酒換算で1合未満)と肥満(肥満の指標であるBMIが25未満)が挙げられます。一方、適度な運動はリスクを減らすとされており、日頃から生活習慣に気を配ることが大切です。大腸がんの早期発見には検診が重要ですが、徳島県は検診受診率が低いのが現状です。大腸がんは早期発見すれば治る確率が非常に高いがんですので定期的な検診を受けることをお勧めします。万が一がんになった場合は、先進の治療を行っている私共の施設にご相談下さい。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp>